



風しん抗体検査・予防接種の助成を拡大 39歳～56歳の男性も対象に

と き 平成31年2月1日から

と ころ 保健予防課予防係

区は、2月1日から、風しん抗体検査・予防接種の全額費用助成制度の対象者を「昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性」にも拡大する。

当該世代の男性区民（約103,000人）は、当時の予防接種制度では接種の機会が無かったため、抗体保有率が低い（下図）。抗体保有率の低い世代に対して重点的に検査と接種を行い、抗体保有率を上げることで、感染力の強い風しんの蔓延を防ぐ。練馬区医師会の協力を得て、国が行う拡大予定より2か月先駆けて実施する。

対象者は、区へ申請することで、抗体検査の費用が任意予防接種扱いで全額助成される。なお、予防接種の費用については、抗体検査を必須とし、検査の結果が基準以下の場合のみ助成の対象となる。

	1回個別接種		2回個別接種		中学生時1回集団接種		接種なし
	1回個別接種	2回個別接種	1回個別接種	2回個別接種	1回個別接種	中学生時1回個別接種	接種なし
女性	88.5%	97.2%	93.5%	95.6%	97.5%	85.8%	85.8%
男性	87.5%	95.5%	90.1%	89.9%	79.8%	91.3%	91.3%
年 齢	1歳	7歳	28歳10か月	31歳4か月	39歳10か月	56歳10か月	
					S54.4.1生	S37.4.2生	
	接種機会2回(2期接種前含む)		接種機会1回		接種機会なし		※厚生労働省の資料をもとに練馬区保健予防課作成

- 【概要】**
- 対象：従来…妊娠を希望する女性、妊娠を希望する女性の同居者、妊娠している女性の同居者
 新規…昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性で、風しんり患歴およびワクチン接種歴のない区民
- 費用：無料
- 申込：希望者は電話・メールで保健予防課予防係へ
 保健予防課予防係 電話 03-5984-2484
 メール HOKENYOB0U01@city.nerima.tokyo.jp

【対象拡大の理由】

世代・性別で予防接種制度が異なってきたため、風しん抗体保有率に差があり、20歳代以下は2回の定期予防接種によっておおむね抗体を獲得し、57歳以上の世代も過去の流行でおおむね免疫を獲得している。接種機会のなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のみ抗体保有率が低い。平成30年7月以降の流行は、30歳代～50歳代の男性が全体の80%以上を占めており、抗体保有率の低い世代に対して重点的に検査・接種を行い、全年齢の抗体保有率を上げ、蔓延を防ぐ必要があるため。